岩手県立胆沢病院　地域医療連携だより

クローバー

～ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して ～

2026. 10
第75号

関係医療機関からのご質問ご要望について Q & A

これまでにお寄せいただいたご意見ご要望に対する当院の対応についてお知らせいたします。
関係医療機関の皆様から頂戴した貴重なご意見等は真摯に受け止め、紹介業務等がより円滑に進むよう、今後も継続して改善に努めてまいります。

Q 紹介センター専用FAXが時間帯によっては混雑していて不通の時がある。回線を増やすことはできないか？

A FAX回線が１つのためご迷惑をおかけし申し訳ございません。
不通の場合はお手数おかけしますが事前に紹介センターへご連絡のうえ、病院代表FAXへ送信くださいますようお願いいたします。なお、FAX回線の増設について引き続き検討を進めてまいります。

○紹介センタ直通電話　　０１９７－４８－０８８１
○胆沢病院代表FAX　　０１９７－２４－８１９４

Q 紹介患者の返事は来たが、その後の経過についても報告が欲しい。

A 院内で共有し、紹介患者さんのその後の経過についても適切に情報提供できるよう努めてまいります。

Q 令和８年度から小児科の常勤医が不在になったようだが、小児科に紹介は可能か。

A 常勤医は不在ですが、平日日中は非常勤医師による診療体制を整えており、小児科へのご紹介は可能です。
令和８年10月からは月曜日から木曜日までFAX紹介を受付けております。また、平日日中であれば、当日紹介も受付けておりますので、患者さんの受診についてお気軽にご相談ください。

岩手県立胆沢病院　基本理念

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

慢性腎臓病（CKD）診療の新時代

～早期発見・早期介入による腎保護戦略と診療連携～

腎臓内科長　菊池　調

岩手県立胆沢病院腎臓内科の菊池です。

先生方には、日頃より患者さんのご紹介をはじめ、診療連携にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

「腎機能が低下してから」ではなく、「低下させないため」

慢性腎臓病（CKD）は、尿蛋白などの腎障害、あるいはeGFR　60　mL/min/1.73m²未満の腎機能低下が3か月以上続く状態です。CKDは末期腎不全だけでなく、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患とも深く関連します。国内では約2,000万人、成人の約5人に1人が該当するとされ、「新たな国民病」ともいわれています。

CKDで重要なのは、eGFRの数字だけを見るのではなく、「なぜ腎機能が低下しているのか」を考えることです。同じeGFRであっても、腎硬化症、糖尿病関連腎臓病、IgA腎症など、原疾患によって腎機能低下の速度や治療方針は大きく異なります。特に比較的若年のCKD患者さんや尿潜血陽性例では、一度腎臓内科で評価することをお勧めします。

慢性腎臓病（CKD）は、自覚症状のない“新たな国民病”

- 慢性腎臓病(CKD）は、透析が必要となってしまうかもしれない腎不全の予備軍です。
- 慢性腎臓病（CKD）は、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患における重大な危険因子です。(発症率約３倍！)
- 慢性腎臓病（CKD）の推定患者数は、2000万人です！



CKD治療は、いま「新しい時代」へ

CKD治療は「支持療法」から「腎保護」へ

近年、CKD診療は大きく変化しました。高血圧、糖尿病、脂質異常症などの危険因子を管理する従来の治療に加え、SGLT2阻害薬をはじめとする腎保護作用を有する薬剤を、より早期から積極的に活用できる時代となっています。

SGLT2阻害薬は糸球体過剰濾過を是正し、長期的な腎機能低下を抑制することが期待されます。開始後に一過性のeGFR低下（initial dip）がみられることがありますが、これは糸球体内圧低下に伴う治療反応として理解することが重要です。一方、発熱・脱水・食事摂取不良などのシックデイには休薬が必要となる場合があります。

「早期紹介」で、できることがあります

胆沢病院腎臓内科では、2017年に週1回の腎臓外来を開始し、2024年から常勤医による腎臓内科診療を開始しました。2026年からは常勤医2名体制となり、現在は週4日の腎臓外来を運営しています。

CKDが疑われるものの、尿検査が未実施の場合でも、どうぞお気軽にご紹介ください。原疾患の評価、腎保護治療の導入、保存期CKDの管理について、かかりつけ医の先生方と併診しながら診療してまいります。

CKDは、「腎機能が低下してから診る病気」から、「腎機能を低下させないために診る病気」へと変わりつつあります。先生方とともに、より早期からのCKD診療連携を進めていければ幸いです。

かかりつけ医の先生方との早期からの診療連携が地域のCKD患者さんの未来を変えます

【下記の場合、腎臓内科へのご紹介・ご相談をご検討ください】

- eGFR＜60mL／min／1.73㎡
- 比較的若年で腎機能が低下している
- CKDの原疾患がはっきりしない
- 尿検査が未実施でもCKDが疑われる場合
- 尿蛋白・尿潜血を認める
- 腎機能が徐々に低下している
- 腎保護治療について相談したい

新任医師の紹介

① 職名　② 専門分野
③ 趣味　④ ひとこと



きむら　しゅんさく
木村　俊作

① 血管外科医長
② 血管外科
③
④ よろしくお願いします。



あらさわ　かずや
荒沢　和也

① 医師（循環器内科）
② 循環器一般
③ 旅行、お酒
④ 地域の皆様の健康が維持されるよう尽力いたします。



ひきち　はやと
引地　隼人

① 医師（消化器内科）
②
③ 野球観戦、ラーメン巡り
④ 岩手県にはじめて参りました。地域の皆様の健康をサポートできるようがんばります。よろしくお願いします。



医師退職のお知らせ

令和８年９月30日付

鬼澤　民雄	参与兼精神科長
神保　琢也	消化器外科医長

令和８年度 年末年始の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当番医師による救急診療体制となります。

12月29日（火）～１月３日（日）

※救急のご紹介の際は、中央処置室にご連絡をお願いします。



岩手県立胆沢病院　地域医療福祉連携室

〒023-0864
岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地
TEL　0197−24−4121
TEL　0197−48−0881（紹介センター直通）平日9時～17時
FAX　0197−24−4180（紹介センター専用）
URL　https://www.isawa-hp.com/